

# 栗橋家文書仮目録

茨城大学図書館

2009.3.11作成

文書 仮番号	表題	年代	西暦	作成	受取	形態	数量	備考
1	年代記(栗橋家日記覚書 慶弔及び世相控)	明和8年～文政10年	1771-1827	栗橋久左衛門		横半帳	1	
2	年代記 壹番(栗橋家日記覚書 慶弔及び世相控)	文政9年～安政6年	1826-1859	栗橋惟善		横半帳・ 合綴	1	
3	定式書上家格町役人控	文政2年	1819			縦帳	1	
4	本四町目人別相改帳	文政4年巳7月	1821		御町御奉行所様	縦帳	1	
5	本四町目人別相改帳	天保13年寅7月	1842		御町御奉行所様	縦帳	1	
6	本四町目人別相改帳	明治2年巳2月	1869		市政御役所様	縦帳	1	
7	本二町目・本三町目・本四町目絵図面 式冊之内一 扣	不記				縦帳	1	4～6の人別改帳の 関係資料(カ)
8	[水戸下町店・居屋敷方角図]	不記		栗橋家		絵図	1	
9	御町奉行へ被下候御筆之写 (冥加金の件)	嘉永2年酉8月	1849		御郡奉行所中	縦綴	1	親翰
10	乍恐以書附奉願上候事 (祭礼隔年渡御につき)	嘉永7年寅正月	1854	藤柄町名主久次郎印 七軒町同佐藤五三郎印 本四町目同栗橋久左衛 門印 他5名	御町御奉行所様	状	1	端裏書あり
11	[御用留](異国船渡来及び 京都御所炎上の件)	嘉永7年寅3月～4月	1854			縦綴	1	老中よりの達書の 写
12	乍恐御書附奉願上候 (百姓の華美への諭し)	文久2年2月	1862	栗橋久左衛門 機屋共18名	御町御役所様	縦綴	1	服制のこと
13	御用帳 (水戸本四町目御用御機所)	慶應元年乙丑11月 吉日	1865	栗橋久左衛門		横帳	1	虫損多し

文書 仮番号	表題	年代	西暦	作成	受取	形態	数量	備考
14	願書(旧水戸藩拝借金につき新政府へ 40年賦嘆願書)	明治7年5月28日	1874	本三町目中村忠兵衛 他	茨城県参事関新平殿	縦綴	1	
15	[斉昭謹慎の件]	天保15年甲辰10月	1844	水戸家中先手物頭格 郡奉行吉成又衛門信貞	閣老堀大和守殿	縦綴	1	閣老堀大和守殿 公用人二就テ御口 ス
16	御老公上書 水戸前中納言斉昭公	安政5年戊午正月	1858	水戸前中納言斉昭	九條殿	縦帳	1	
17	小金宿二而歎願之写 (斉昭謹慎の件につき)	安政6年未正月	1859	惟正記		縦帳	1	
18	乍恐以書付奉願上候(斉昭謹慎につき)	安政6年6月	1859	南郡・庄屋・組頭精心之 者より之願書		縦綴	1	栗橋又衛門心得に 付写直し
19	秘書(斉昭謹慎の件)	安政6年己未7月	1859	菅亮再拝		縦帳	1	与青山皓書(写)
20	吉田神社神主祝詞 (斉昭謹慎の件につき祈願書)	安政6年9月14日	1859			状	1	
21	前中納言君御親書止(留)写	安政7年庚申2月	1860			縦帳	1	
22	日本国之忠勇17士懷中正書 (尊皇攘夷派の檄文の写)	[近世(幕末)]		(栗橋久太郎) (兄 栗園訓点)		縦帳	1	朱書きあり
23	乍懼口上書を以御願奉申上候 (久左衛門跡目相続人の後見につき)	天明元年丑9月	1781	井筒屋久左衛門・ 手代2名	江戸御問屋衆中様 水戸同 各様	縦帳	1	
24-1	乍恐以書付奉願上候 《貞蔵除籍につき四男(三男)久太郎へ家督相 続の件》	安政4年丁巳11月	1857	本四町目栗橋久左衛門	御町御役所様	縦綴	1	24-2と合綴
24-2	[栗橋久左衛門貞蔵義]	安政4年丁巳12月4日	1857	本四町目栗橋久左衛門	本四町目支配組頭中	状	1	24-1と合綴
25	貞蔵江遣し金并品々控帳 并御屋敷御立入数度助勢金双子口扶持	安政4年丁巳11月	1857	久左衛門		横帳	1	久左衛門自筆

文書 仮番号	表題	年代	西暦	作成	受取	形態	数量	備考
26	婚礼控	天保10年己亥 12月17日	1839			縦帳	1	
27	満三郎積金帳	天保11年庚子 正月吉日	1840	栗橋惟善		横半帳	1	裏表紙に栗橋惟善 の名前あり 白紙多し
28	死去御届抜落恐入(死亡届) (母千賀明治7年7月74歳死亡届けの遅れ)	明治8年10月10日	1875	第一大区四ノ小区本四 町目七拾番地商い 栗橋久左衛門 他1名	茨城県権令中山信安 殿	縦綴	1	朱書きあり
29	祝儀受納簿	明治14年巳旧2月	1881	栗橋たか		横帳	1	
30	壹番 金集覚簿	酉～戌(カ)(近代カ)		栗橋昇		横半帳	1	
31	記(屋敷地の植木及び土蔵等書上)	[近代]				縦綴	1	
32	栗橋惟正書	不記				状(大判)	1	栗橋保春
33	世話字往来(手習い)	不記				横半帳	1	
34	摂州布引瀧岡(布引山瀧勝寺板) 尾上(かのえ)乃可称(鐘)由来	不記				状	1	
35	[出産儀礼書]	不記				縦帳	1	図あり 綴じにホッ チキス
36-1	預申金子之事(文金5両返済について)	文政9年戌2月	1826	井筒屋久左衛門 <sup>印</sup>	常照寺御納所様	包紙(状)	1	受人 井筒屋彦四 郎。 書状 紙金包紙
36-2	土蔵積り(土蔵建築見積書)	(近世)		不記	不記	状	1	土蔵建築工事一式 (材料・手間代 等々)見積書
36-3	[書状]用事(商取引違約の件)	(近世)7月12日		千種主税	栗橋久左衛門様	状	1	三者間取引におい て栗橋久左衛門へ の納品が遅れ、間 に立つ千種主税が 手持商品を相場よ り5合安にて弁納の

文書 仮番号	表題	年代	西暦	作成	受取	形態	数量	備考
36-4	覚(清水町抱屋敷売渡証文)(書入)	弘化4年未2月	1847	清水町きち、引受人 清水町直左衛門、大竹 富蔵	いづつや久四郎殿	状	1	金四両、但未申西 12月まで3力年限 年々割五分の金利
36-5	①[書状](境杭の屋号替立について相談したい 旨)	①11月28日 ②11月16日		①井筒屋久左衛門 ②福嶋屋三郎平	①福嶋屋三郎平様 ②福嶋屋満三郎殿	状	1	境杭の件につき呼 出し
36-6-1	[別紙の証文写を記した添状]	文政9年戌11月29日	1826	当 久左衛門 六十才	不記	状	1	徳田作十郎より 写
36-6-2	口上書[元利金持参延引の件]	(近世)正月4日		千種より	久左衛門様	状	1	元利金両三歩
36-7	書状[養子縁組破談に付]	不記		不記	不記	状	1	養子縁組が整わな かった件について
36-8	覚[拝借金請取の件]	(近代)酉8月14日		水戸下町 大黒屋久四郎印(口印)	御本宅様 上	状	1	金三拾両
36-9	[書状](寺納につき相談の件)	(近世)7月3日		沸日山納所(常照寺)	井筒屋久左衛門殿	状	1	中間欠(加藤氏二 而幼少早世云々)
36-10	[書状](吟味の必要など)	11月晦日		伝六	久左衛門様	状	1	手跡・印形が相違 あるので、吟味の 必要性(七軒町に て40年程前に仕立 屋で商売をして江 戸へ引っ越した同 じ久左衛門という人
36-11	[金銭請取・商品払出書付]	(近世)		不記	不記	折紙	1	新支配請取、金五 千両代の書付。中 大野村勘次郎殿な どの記載あり。裏 にも文字有(丑6月青 梅縞・羽織・棧留の 3品の代金壹両を 丑12日に貸す 大
36-12	[手形請取書指出のこと]	(近世) 12月24日		大塚東助	井筒屋久左衛門様	状	1	
36-13	元利明細書	(近世) 午6月より同12月迄		不記	御勝手方様御手形そえ	包紙1 状1	2	
36-14	[品代残金支払延引願いのこと]	(近世)(亥) 11月8日		栗田彦六	栗橋久左衛門様	状	1	品代のうち当金5両 相納、残金之義
36-15	[荷物延引の件、急ぎ返事のこと]	(近世力)		小林彦衛門代専吉	下町四丁目 井筒屋久左衛門様	状	1	
36-16	覚(品代)	(近世)		不記	不記	状	1	後欠

文書 仮番号	表題	年代	西暦	作成	受取	形態	数量	備考
36-17	口上〔久左衛門子息の行状のこと〕	(近世) 11月23日夜		仏日山(常照寺) 奥より	井筒屋久左衛門殿	状	1	
36-18	覚〔普請金拝借高当申暮納分〕	(近世) 申12月		名主左近司長三郎 印(口印)	本四町め久左衛門殿	状	1	36-20と合体
36-19	井筒屋久左衛門様	(近世) 3月28日		不記	井筒屋久左衛門様 御店中様	断簡	1	日付と宛名のみ
36-20	〔品代書上〕	(近世) 戌2月		不記	井久様 (井筒屋久左衛門様)	状	1	
36-21	〔年末の挨拶と歳暮贈答のこと〕	安政5年正月2日	1858	松本平介	栗橋久左衛門様 貴答不及	状	1	
36-22	〔酒の肴(とうふあんかけ)所望のこと〕	(近世)		隠居拝	久左衛門殿 上	状	1	
36-23	取扱申一札之事 〔本店善助別家に伴う養子縁組のこと〕	天保3年8月	1832	不記	井筒屋久左衛門	状	1	下書きと思われる。
36-24	〔下書〕 (善平次の頼みにより別家一同寄合のこと)	不記		不記	不記	状	1	
36-25	〔覚書〕	不記		不記	不記	断簡	1	「雷風恒初三ノ変」 とのみ 記載あり。
36-26	〔新葬の際の亡者手土産のこと〕	(近代)		不記	不記	状	1	前後欠
36-27	〔年次元金運用書上〕	不記		不記	不記	折紙	1	前後欠
36-28	(断簡)〔保証一札のこと〕	(近世)		不記	不記	断簡	1	
36-29	〔油屋定吉名跡へ養子のこと〕	(近世) 12月29日		不記	不記	状	1	
37-1	〔御社参に付上納金〕	安永4年未閏3月- 閏5年申正月	1775-1996	不記	不記	断	1	
37-2	〔融通拝借金出入訴訟の改正に付触書〕 (幕府金銭訴訟に付相対済令)	寛政9巳年9月4日	1797	水府役所	年番名主江	状	1	
37-3	〔覚書〕	不記		不記	不記	小片	1	「七ノ十一回義ノミ 写ス」と のみ記載あり。
37-4-1	覚(大工手間代・材料費書上)	不記		不記	不記	状	1	
37-4-2	〔品代書上〕	不記		不記	不記	断	1	×銀壹貫七拾九匁
37-5	〔金銭書上〕	巳・辰・酉3月		本四町目久左衛門	不記	小片	8	一綴り 青物丁支 西
37-6	乍恐以書付奉願上候 (類焼後の復興資金の拝借願)	巳8月(弘化2年力)	1845	本四町め久左衛門 <sup>㊤</sup>	御役所様	状	1	金86両 三口拝借 高
37-7	口上覚書(久左衛門心得覚書)	弘化2年巳5月	1845	久左衛門	不記	状	1	類焼に付、普請金 借用の件

文書 仮番号	表題	年代	西暦	作成	受取	形態	数量	備考
37-8-1	記(品代請取証)	戌6月20日		和泉屋孝四郎 代亀吉	井久様	状	1	金6両壹分右の 通り請取申候こと
37-8-2	覚(出家に付金子請取のこと)	(近代) 3月20日		金子請取使 小林彦衛 門代倉次印 水戸大津西町 加ミや源 兵衛印(口印)	井筒屋久左衛門殿	状	1	
37-8-3	覚[大津浜俵幸吉への送付確認状]	(近代) 巳2月朔日		水戸定飛脚取次 水戸井筒屋口衛門 嶋屋口右衛門	井筒屋久左衛門様	状	1	
37-8-4	覚(卯暮普請金可納分元利請取証)	卯12月24日		組頭仁衛門印	本四丁目久左衛門殿	状	1	
37-8-5	覚(普請金年譜亥年分請取状)	享和3年亥12月26日	1803	組頭仁衛門印(口印)	本四丁目久左衛門殿	状	1	
37-8-6	覚(普請金上納酉暮分請取状)	酉12月26日		名主左近司長四郎印 (口印)	本四丁目久左衛門殿	状	1	
37-8-7	覚(寅年御上納請取状)	12月27日		組頭新吾印	久左衛門殿	状	1	
37-8-8	覚(類焼拝借金のうち返済につき)	(近世)申12月		名主左近司長四郎印 (口印)	本四丁目久左衛門殿	状	1	文金貳両貳朱
37-8-9	覚(当辰普請上納金請取状)	辰12月25日		名主仁衛門印	本四丁目久左衛門殿	状	1	
37-8-10	覚(当巳暮普請金年賦請取状)	文化6年巳12月	1809	本四町目名主仁衛門 印(口印)	本四丁目久左衛門殿	状	1	
37-8-11	覚(当戌暮普請金拝借年賦元利請取状)	享和2年戌12月	1802	名主 左近司長四郎印 (口印)	本四丁目久左衛門殿	状	1	
37-8-12	覚(掛金・積金につき)	丑10月7日		連中	栗橋氏	状	1	左近司様江相預け 金3両2分也
37-8-13	覚(御用金上納請取状)	文化6巳4月27日	1809	名主仁衛門印(口印)	本四丁目久左衛門殿	状	1	金壹両也
37-8-14	覚(焼拝借金上納分請取のこと)	寛政11年未12月	1799	名主左近司長四郎印 (口印)	本四丁目久左衛門殿	状	1	
37-8-15	覚(買穀指替金上納請取状)	巳10月		庄屋代 栗田彦六印 (口印)	栗橋久左衛門殿	状	1	
37-8-16	[御社参に付上納金]	安永4年未閏12月	1775	不記	不記	包紙カ	1	預久左衛門右上納 仕候 金貳両貳万 同5申 正月両度に上納
37-8-17	[上納金分請取候]	戌12月		組頭新吾印	本四丁目久左衛門殿	状	1	
37-8-18	覚[焼拝借金御上納分請取のこと]	(近世)酉12月		組頭新吾印	本四丁目久左衛門殿	状	1	金壹分

文書 仮番号	表題	年代	西暦	作成	受取	形態	数量	備考
37-8-19	覚〔元利御上納分請取のこと〕	(近世) 申12月		組頭新吾㊟	本四丁め久左衛門殿	状	1	金貳歩貳朱六百五十壹文
37-8-20	覚〔焼拝借年賦請取皆納のこと〕	享和元年酉12月3日	1801	名主左近司長三郎㊟	本四丁め久左衛門殿	状	1	金貳分貳朱 本百六拾六文六分六厘延貳百七拾六文
37-8-21	覚〔手形入替請取書指上〕	(近代) 7月20日		本四町目市郎衛門	井筒屋久左衛門様	状	1	金貳拾両
37-9	覚(大工手間・品代書上)	酉11月23日		大工平二	いづつや久左衛門様	状	1	23両2朱8口文
37-10	覚(御用金上納金受取証)	文政元年寅12月	1818	青物町名主藤四郎㊟	本四丁め久左衛門殿	状	1	金3両貳分也
37-11	覚(御用金上納請取証)	文化15年寅2月	1818	青物町名主藤四郎㊟	本四丁目久左衛門殿	状	1	文金七両
37-12	覚(御上納分請取証)	(近世)12月25日		組頭新吾㊟	本四丁め久左衛門殿	状	1	金壹歩貳朱四百七文
37-13	覚(当丑普請金上納分益金指引受取証)	丑12月29日		組頭仁衛門㊟	本四丁め久左衛門殿	状	1	金壹両三鏝三文